瞬発強力

本当にしつこいサビの汚れを

一発除去!!

環境に優しい中性タイプ

かけるだけでサビがたちまち落ちる！

サビキラーシリーズ

プロも使用!

サビハイダークイック 中性

使用方法 スプレー

コンクリートのサビ染みも除去

サビにかけるだけで、たちまち落ちる!

やることはかけるだけ、それだけでサビがたちまち落とせます。

速効作用でおまたせしません!

速効作用により、かけてから５～１０分でサビを分解・除去！

お肌にも環境にも優しく、しかも安全!!

中性の為、お肌にも環境にも優しく、誰でも簡単・安全に扱えます。

このような御用途に最適です

▲工具・金物の錆落とし

▲アウトドア用品の錆落とし

▲浴槽・浴室の錆落とし

▲自転車の錆落とし

▲コンクリート・石材の錆だれ・錆染みおとし

その他、移動や分解が難しい錆の除去に

かんたんな使い方

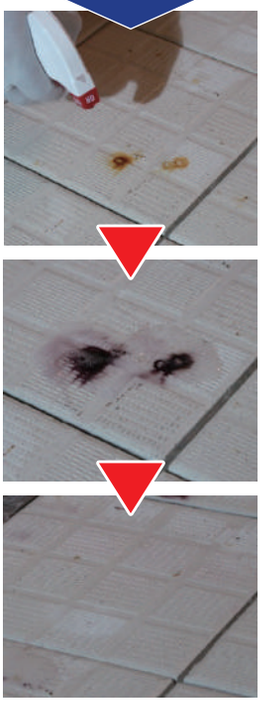
1）容器を軽く振ります
2）サビ・サビ染みに直接かけます
3）5～10分程度放置します
4）水で洗い流します

▲水で流すことが難しい場合は、水を含んだ布などで拭き取ってください。

■使用上の御注意

●人体に向かって使用しないでください。●皮膚の弱い方、荒れ性の方は保護手袋を着用してください。●刺激臭がありますので屋外もしくは通気性のよい場所でご使用ください。●塗料の種類によっては変色を起こす恐れがあるため、予め目立たないところで試してからご使用ください。●噴霧後、乾くと色むらや汚れの原因となりますので炎天下や塗装が焼けた状態でのご使用は避けてください。●再使用時に最初の数回が紫色の液が出ることがありますが、品質性能は変わりません。●使用後は液残りが無い様に、布などで液をふき取った上で、必ず水でよく洗い流してください。水をかけることが難しい場合は、水を含ませた布でよく拭いてください。●鉄部の場合は、使用後に防錆剤をかけてください。

風呂場の貰い錆もバッチリ除去！



サビハイダークイックと他錆除去剤との比較

サビハイダークイック（中性錆除去液）	製品	酸性錆除去剤（酸性）
	製品画像	
◎（基本的に吹き付けるだけ）	作業に要する力	◎（基本的に漬け込むだけ）
◎（肌の弱い方を除き、手袋は不要）	皮膚への刺激性	×（かなり強い・ゴム手袋必須）
◎（錆・鉄粉のみを溶かして除去）	素地に対する保護	×（錆と共に素地も溶かしてしまう）
◎（拭き取りまたは洗い流しで可）	仕上の簡易性	×（中和作業を行う必要有）

サビハイダークイック（中性錆除去液）	製品	クレンザー系錆除去剤（研磨剤）
	製品画像	
◎（基本的に吹き付けるだけ）	作業に要する力	×（クレンザーで削り落とす為、力が必要）
◎（肌の弱い方を除き、手袋は不要）	皮膚への刺激性	△（クレンザーで肌を傷める可能性有）
◎（錆・鉄粉のみを溶かして除去）	素地に対する保護	×（削り落とすため、擦り傷を伴う）
◎（拭き取りまたは洗い流しで可）	仕上の簡易性	×（綺麗にクレンザーを洗い落とす必要有）

従来型のサビ除去剤では
サビだけでなく素地も取り除いてしまう結果
となってしまいます。

サビハイダークイック（中性）なら
素地へのダメージを最小限に留め、サビのみを分解・除去
する事が可能です。

ジェル、スプレー 100ml / 300ml / 1L

詰め替え：1L / 4L

下記の素材のサビ汚れ・水あかなどの除去に最適です

素材	使用可否	備考
鉄	◎（使用可）	サビ・サビ汚れ共に使用可。※注2
ステンレス	◎（使用可）	サビ・サビ汚れ共に使用可。光沢が万一失われた場合は、再度研磨をする事で復元可。※注2
プラスチック	◎（使用可）	サビ汚れに使用可。
コンクリート	◎（使用可）	サビ汚れに使用可。
アルミニウム	○（使用可）	サビ汚れに使用可。但し、白サビ（水和酸化物）は除去できない為、白サビの除去にはクレンザーとの併用を推奨。

注1：水あかの種類によっては本品のみでは落としきれれない場合があります。
その場合は、水あか除去用のクレンザーなどを併用してください。
注2：金属面に対する使用に際しては、予め目立たない箇所で試用し、素地に対する変色が無い事を確認してから使用してください。

以下の箇所には使用を避けてください

（シミ・変色の原因となる可能性があります）

箇所	使用可否
ゴム	△（使用制限）
大理石	△（使用制限）
布製品・衣類類	△（使用制限）
高炭素鋼・焼き入れ鋼	×（使用不可）
木材	×（使用不可）
メッキ製品	△（使用制限）

サビハイダークイック（中性）
使い方動画公開中!!

■使用上の御注意

- ●人体に向かって使用しないでください。
- ●皮膚の弱い方、荒れ性の方は保護手袋を着用してください。
- ●刺激臭がありますので屋外もしくは通気性の良い場所でご使用ください。
- ●塗料の種類によっては変色を起こす恐れがあるため、予め目立たないところで試してからご使用ください。
- ●噴霧後、乾くと色むらや汚れの原因となりますので炎天下や塗装が焼けた状態でのご使用は避けてください。
- ●再使用時に最初の数回分が紫色の液が出ることがありますが、品質・性能は変わりません。
- ●使用後は液残りが無い様に、布などで拭き取った上で、必ず水でよく洗い流してください。水をかけることが難しい場合は、水を含ませた布でよく拭いてください。
- ●鉄部に使用された場合には、使用後に必ず防錆剤を使用してください。

【お求めはこちらまで】

【開発・製造】
特殊塗料開発製造メーカー
株式会社 BAN-ZI
〒262-0011
千葉県千葉市花見川区三角町 118
フリーダイヤル：0120-012-280
URL:http://www.ban-zi.jp/